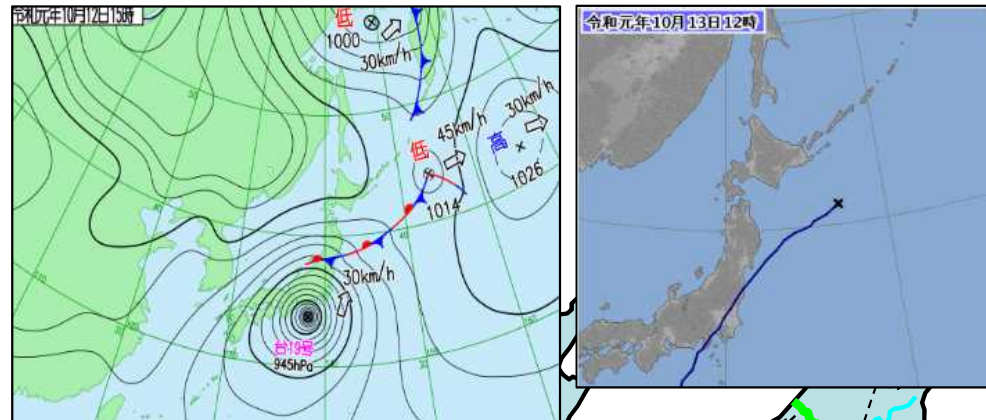
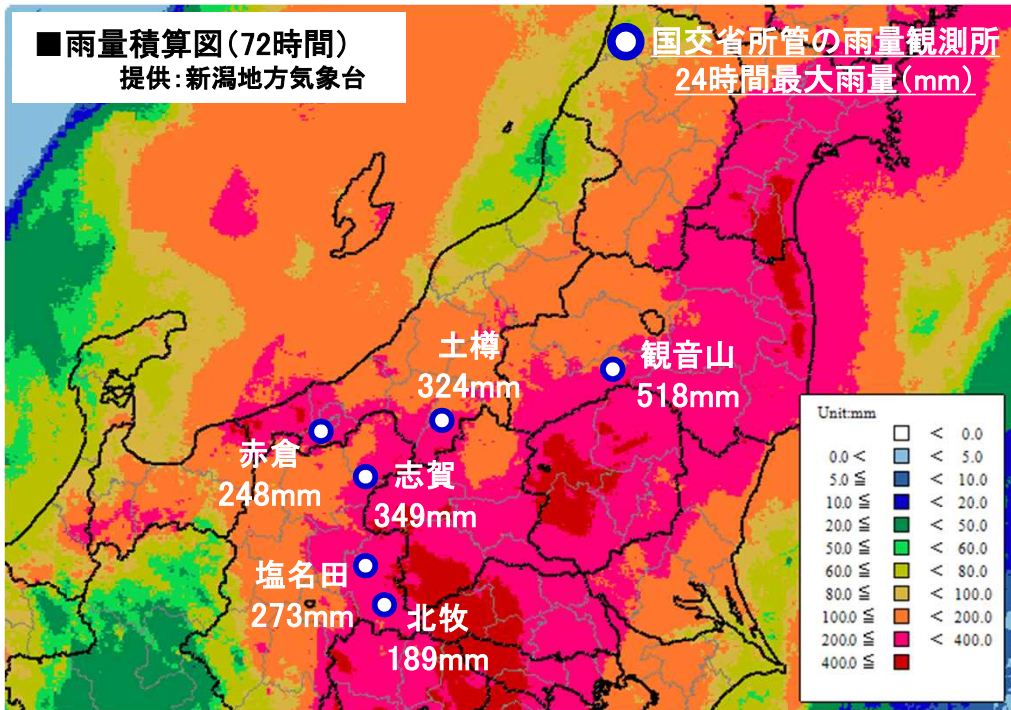


令和元年10月台風第19号出水概要報告

令和2年1月10日

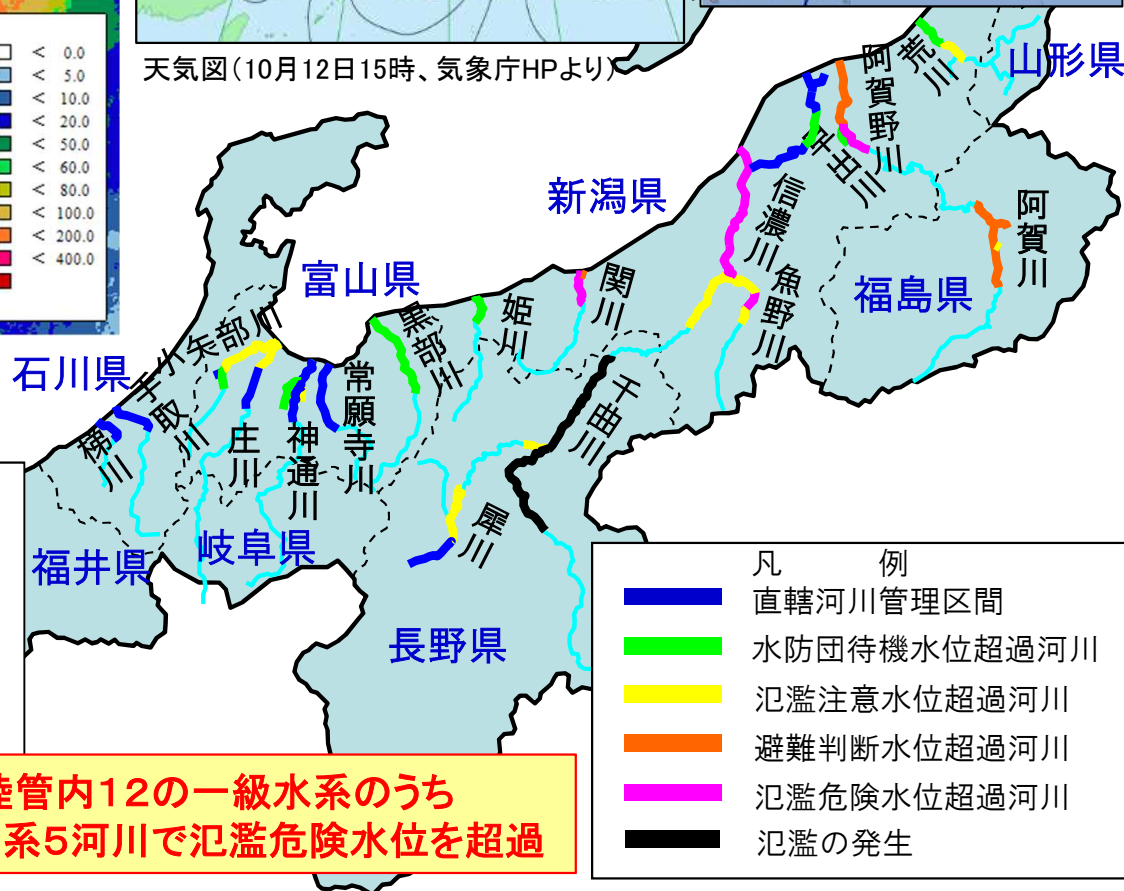
北陸地方整備局

○大型で非常に強い台風第19号は、10月12日の夕方～夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海・関東地方に上陸し、台風本体の発達した雨雲の影響により、北陸管内の山沿いを中心に大雨をもたらした。



天気図(10月12日15時、気象庁HPより)

※流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量



■河川出水状況(直轄河川)

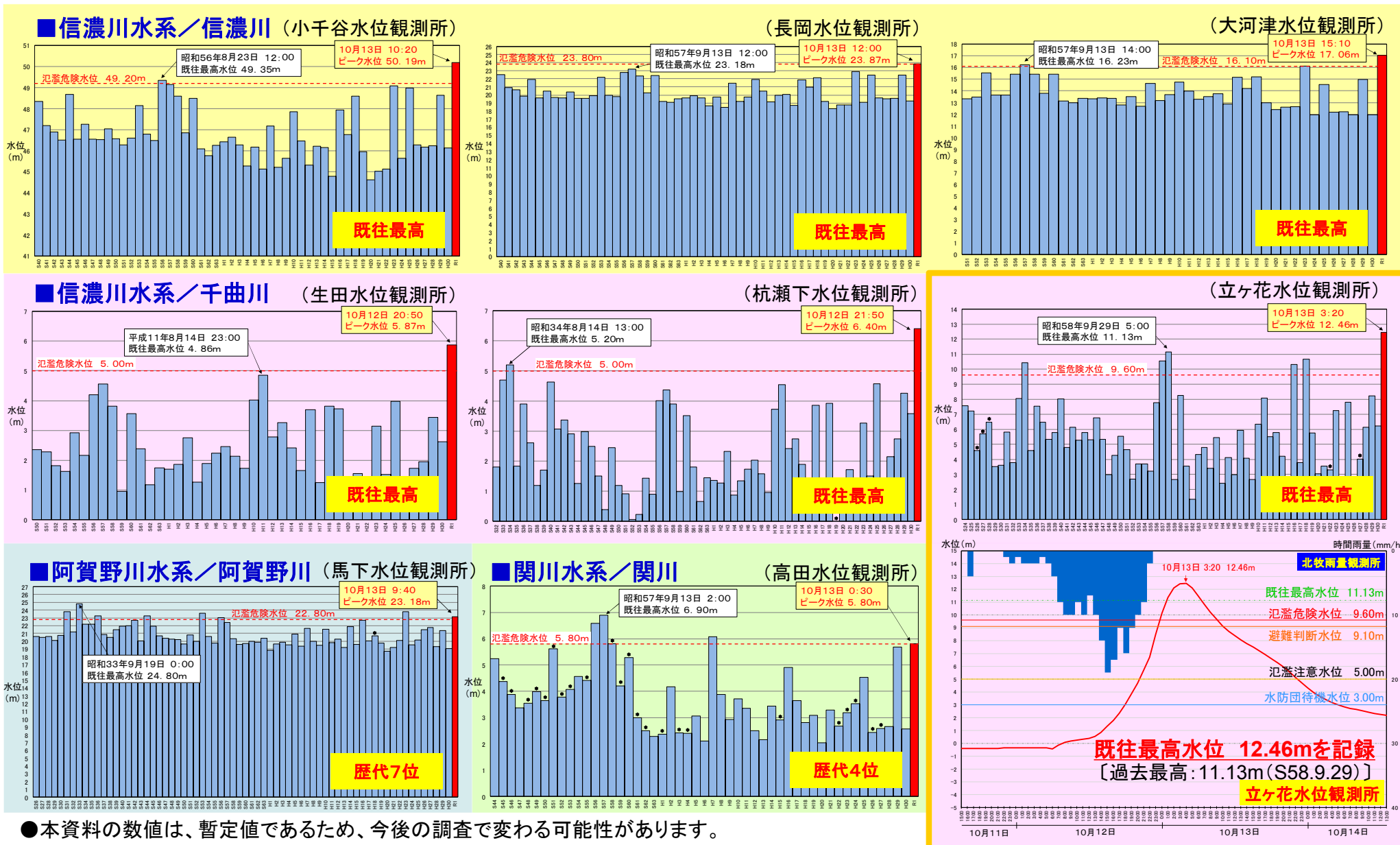
- レベル5(氾濫の発生) <1河川>
 - ・信濃川水系(千曲川)
- レベル4(氾濫危険水位超過) <5河川>
 - ・信濃川水系(千曲川、信濃川、魚野川)
 - ・阿賀野川水系(阿賀野川)
 - ・関川水系(関川)

北陸管内12の一級水系のうち
3水系5河川で氾濫危険水位を超過

凡	例
	直轄河川管理区間
	水防団待機水位超過河川
	氾濫注意水位超過河川
	避難判断水位超過河川
	氾濫危険水位超過河川
	氾濫の発生

令和元年 台風第19号の気象・出水概要

- 信濃川水系(千曲川～信濃川)では、全川を通じて**既往最高となるピーク水位**を観測した。
- 阿賀野川や関川水系でも、**歴代上位**となる観測値を記録した。



●本資料の数値は、暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

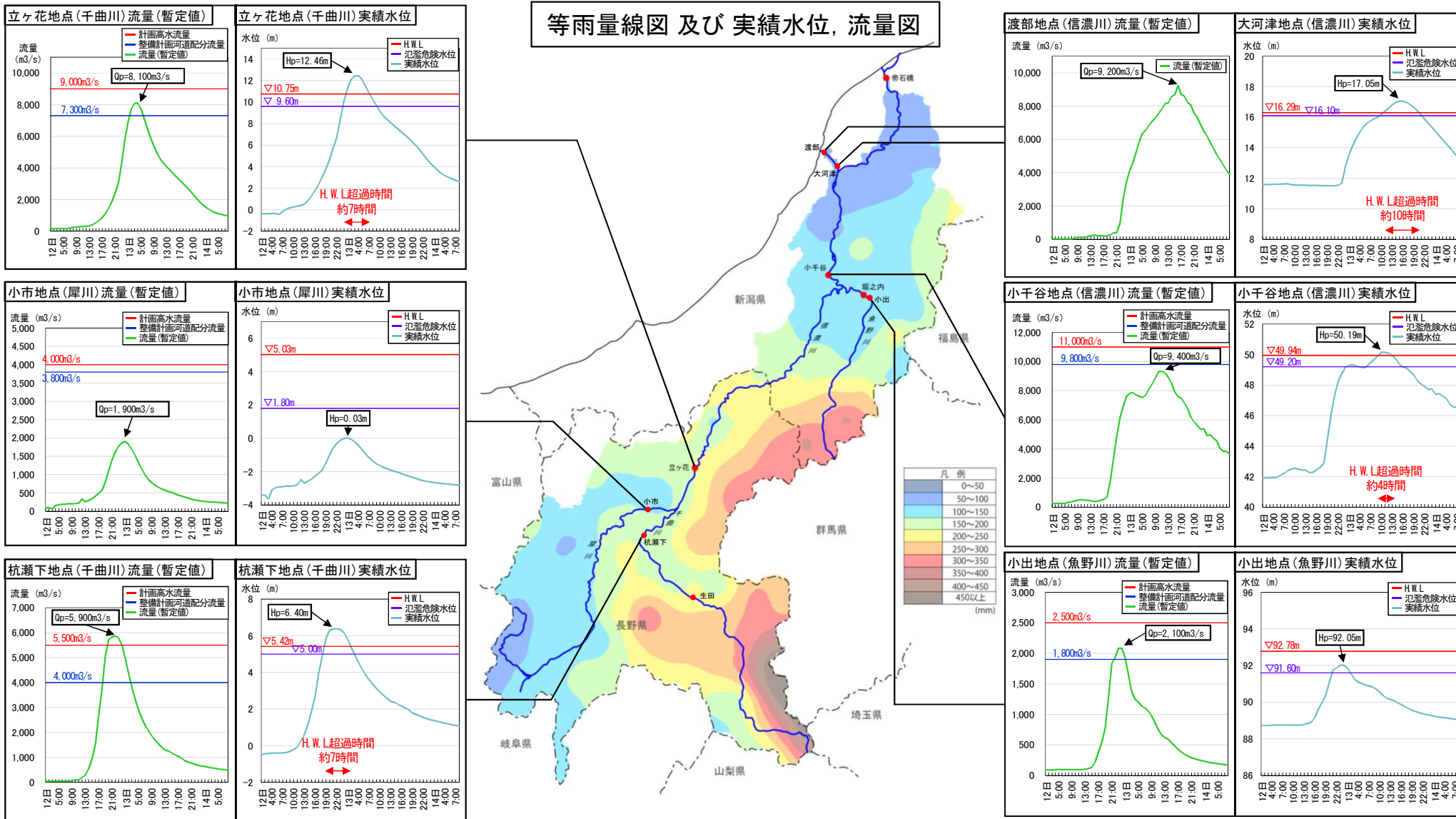
【*】: 水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填

令和元年 台風第19号の出水状況

○信濃川流域における流域平均2日雨量は、立ヶ花地点で196.8mm/2d、小千谷地点で199.2mm/2dを記録し、ともに既往最大を更新した。

○千曲川管内の3地点で氾濫危険水位を超過(内3地点で計画高水位を超過)し、信濃川管内の4地点で氾濫危険水位を超過(内2地点で計画高水位を超過)した。

等雨量線図 及び 実績水位, 流量図



●本資料の数値は、暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

令和元年 台風第19号の被災状況

○台風第19号による人的・建物被害は、全国で死者98人、重軽傷者484名、住家被害(全半壊23,518棟、一部損壊24,490棟、浸水43,209棟)、管内では長野県、新潟県で甚大な被害をもたらした。

◆長野県:死者5名、重軽傷者144名、住家被害(全半壊3,418棟、一部損壊3,422棟、浸水1,795棟)

◆新潟県:重軽傷者5名、住家被害(全半壊11棟、一部損壊30棟、浸水311棟) ※消防庁情報:12月2日時点

【長野市穂保地区】

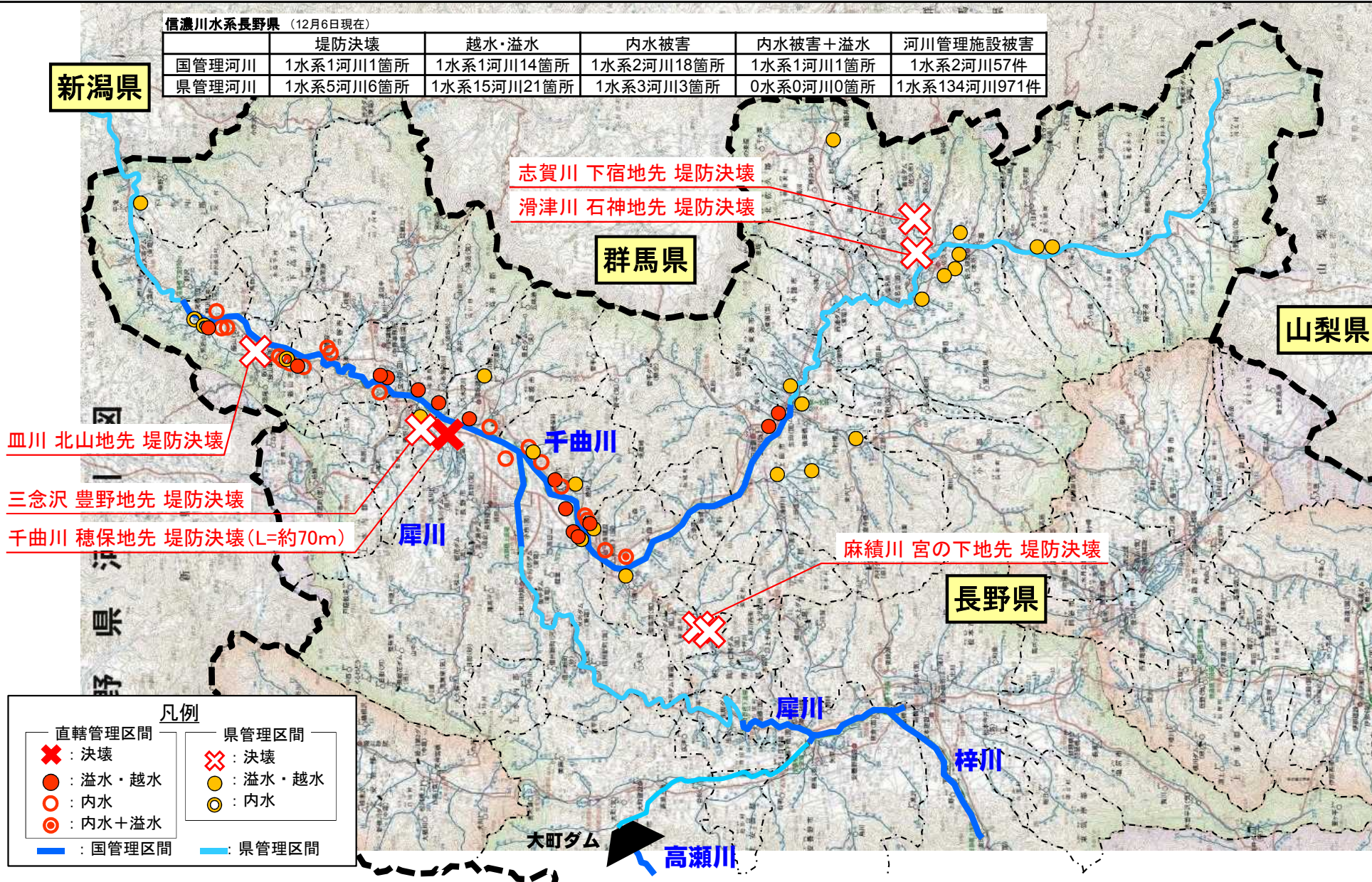


【上田市諏訪形地区】



令和元年 台風第19号による長野県内の被害状況

○令和元年、台風第19号により、長野県内の各地で被害が発生した。
 ○国管理河川では、千曲川において堤防決壊が発生し、県管理河川では、皿川及び三念沢、志賀川、滑津川、麻績川にて堤防決壊が発生し、浸水被害をもたらした。



令和元年 台風第19号による新潟県内の被害状況

- 令和元年、台風第19号により、新潟県内の各地で被害が発生した。
- 国管理河川では、信濃川において浸水被害が発生し、県管理河川では、魚野川(信濃川水系)及び矢代川(関川水系)で堤防決壊が発生した。

信濃川水系新潟県 (12月6日現在)

	堤防決壊	越水・溢水	内水被害	河川管理施設被害
国管理河川	0水系0河川0箇所	1水系1河川6箇所	0水系0河川0箇所	1水系2河川16件
県管理河川	1水系1河川1箇所	1水系2河川3箇所	0水系0河川0箇所	1水系7河川18件



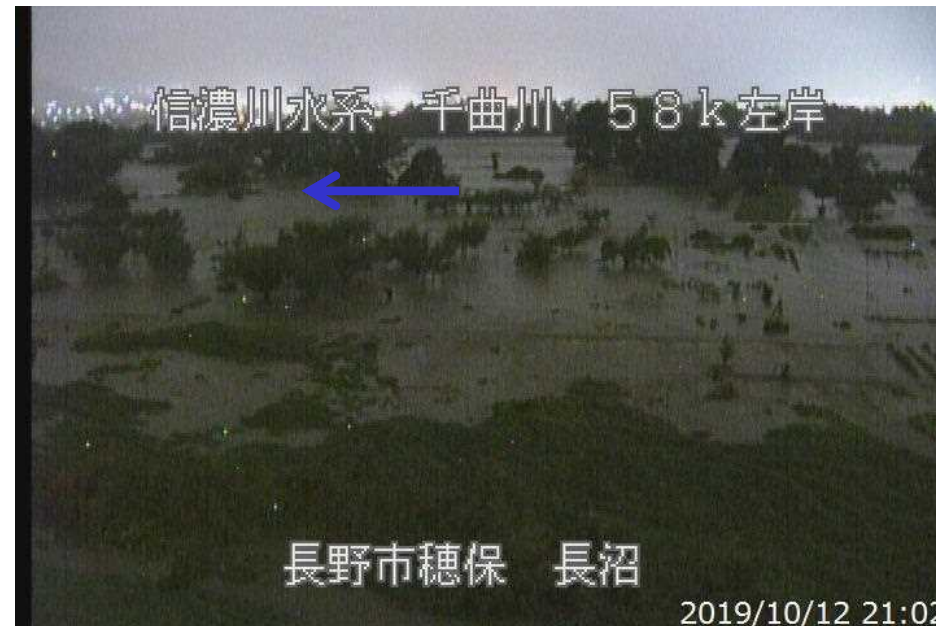
凡例

直轄管理区間	県管理区間
✕ : 決壊	✕ : 決壊
● : 溢水・越水	● : 溢水・越水
○ : 内水	○ : 内水
— : 国管理区間	— : 県管理区間

【河道内の状況】(令和元年10月12日～13日)



避難勧告発令【12日18時00分】時(10月12日18時頃)



高水敷冠水時(10月12日21時頃)



避難指示発令【12日23時40分】時(10月12日23時50分頃)



越水時(10月13日1時40分頃)

【堤防の状況】(令和元年10月13日)



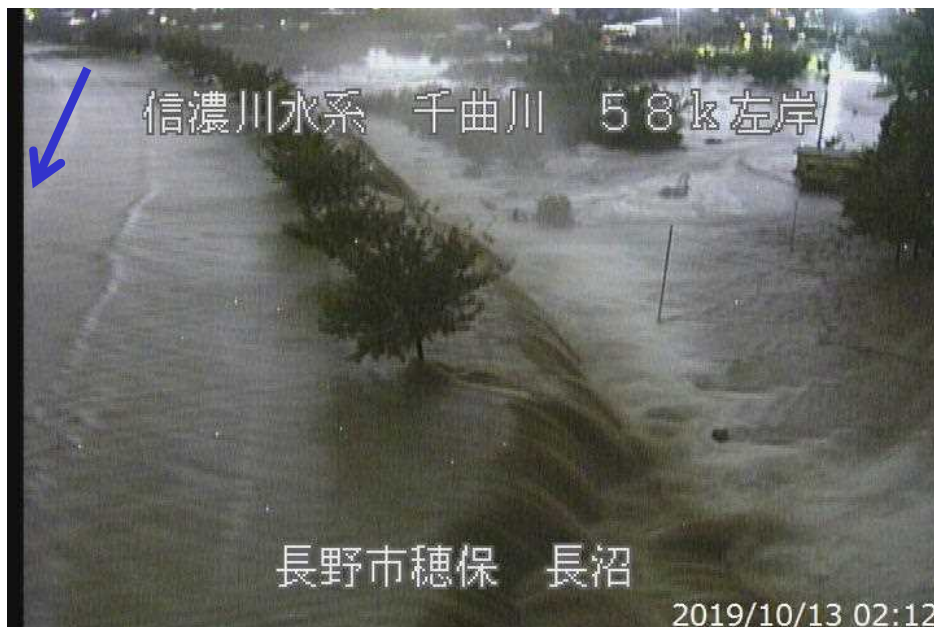
越水確認直後(10月13日1時頃)



越水状況(10月13日1時30分頃)



越水状況(10月13日2時頃)



決壊箇所越水状況(10月13日2時12分)

- 10月13日(日) 7:10より24時間体制で緊急復旧工事に着手。
- 10月17日(木) 仮堤防が完成。
- 10月30日(水) 9:00鋼矢板仮締切堤防が完成。



- 10月13日(日) 8:33より24時間体制で緊急復旧工事に着手。
- 10月28日(月) 川の流れを変える瀬替工が完成し、被災箇所への水当たりを弱めた。
- 11月 3日(日) 仮堤防が完成。



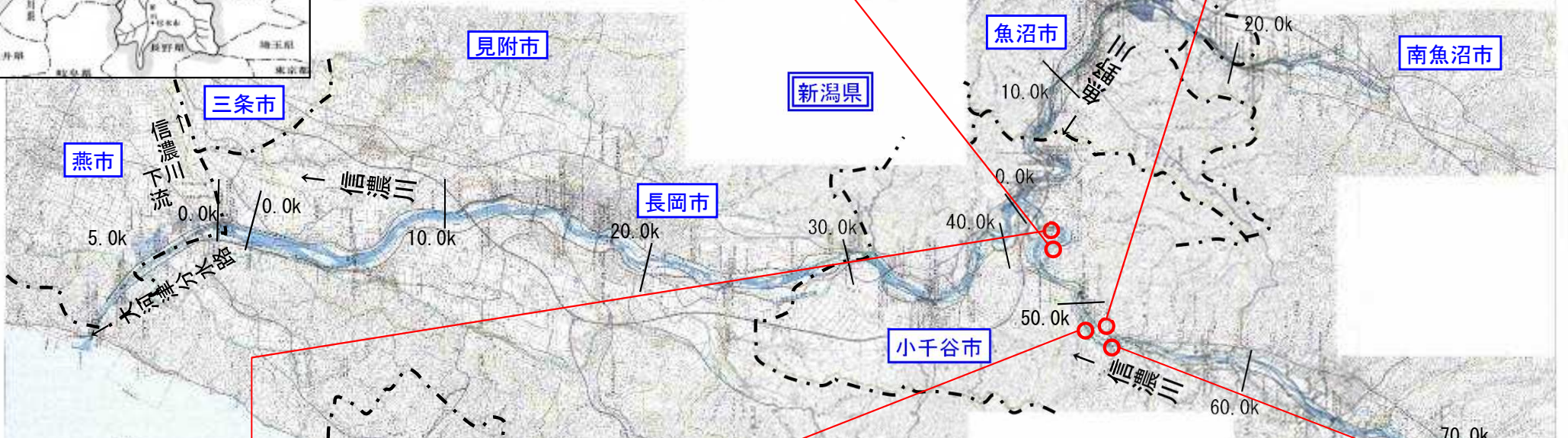
○新潟県内の信濃川沿川では各所で越水が発生し、小千谷市川井地先、岩沢地先、塩殿地先では、家屋の浸水被害が発生した。



小千谷市川井地先



小千谷市岩沢地先



小千谷市塩殿地先

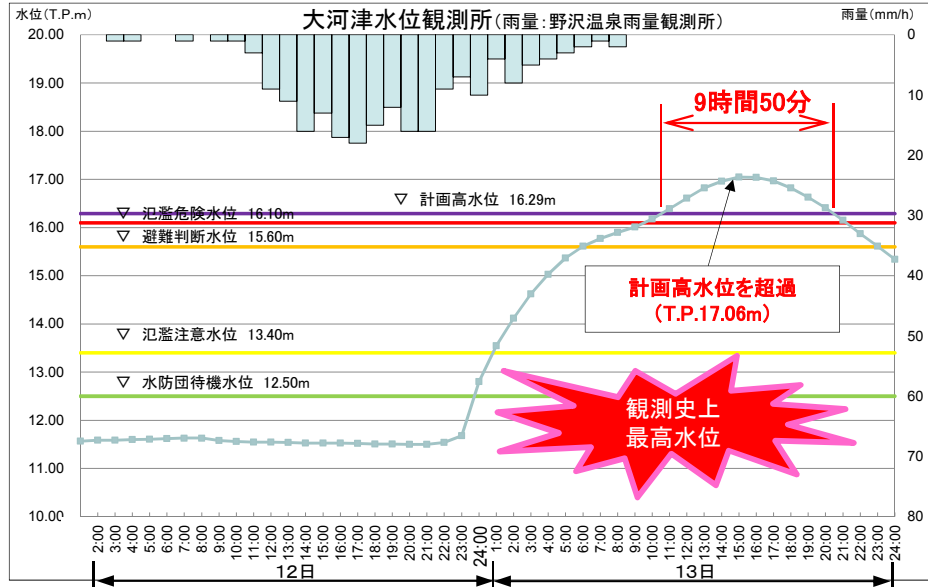


小千谷市真人地先



小千谷市真人地先

○大河津水位観測所では、観測史上最高水位 (T.P.17.06m)を観測し、計画高水位を約10時間超過。
 ○JR越後線信濃川分水橋梁では、橋桁まで水位が上昇。左右岸で水防活動(土のう積)を実施。



№18付近 JR越後線信濃川分水橋梁付近の状況
 (10月13日11時55分時点)



(右岸)土のう積 作業状況(燕市)



(右岸)土のう積 作業完了(燕市)



(平常時)



第二床固副堰堤付近の状況
 (10月13日16時06分時点)